

お元気ですか？

ogenkidesuka



寒くなる冬にかけて注意!!

心不全について

インフルエンザ流行期に
おける面会の注意点について

シリーズ職場紹介…5A病棟

地域医療連携だより

●がんについての相談を受け付けています



コスモス

撮影：院長 佐藤 尚文

和名でアキザクラ（秋桜）とも言う。「コスモス」とはラテン語で星座の世界（宇宙）を意味する。
花言葉は「少女の純真」「真心」。原産地はメキシコの高原地帯。

発行

富岡地域医療事務組合

公立富岡総合病院

〒370-2393 群馬県富岡市富岡2073-1

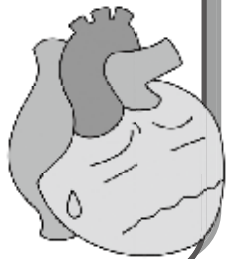
☎ 0274-63-2111 📠 0274-64-1406

✉ tomihp@mail.gunma.med.or.jp

🌐 <http://www7.wind.ne.jp/tomihp/>

寒くなる冬にかけて注意!!

心不全について



公立富岡総合病院循環器科 瀬田享博

一 心不全とは

今回は、これから寒くなる冬にかけて更に多くの方が発症する心不全という病気について説明します。

心不全とは、心臓のポンプとしての機能が低下した状態のことです。さまざまな原因で心臓の機能が低下すると、全身に十分な血液を送り出せず、全身に水分がたまることにより発症します。



起坐(きざ)呼吸▲

一 症状

肺に水分がたまると、息切れ・呼吸困難、咳、全身にたまると疲労感、足のむくみ、体重増加などが起こります。心不全が進行すると、簡単な動作(服を着替える、トイレに行く、歯磨きをする)の後でさえも、疲労感や息切れを感じるようになります。また、あおむけに寝ていると苦しいので、上半身を起こした状態でないと横になれなくなります。この様な状態を起坐(きざ)呼吸といいます。

一 診断

普通、胸部X線検査で、心臓の拡大(心臓が大きくなっている状態)と肺の水分のたまり具合を、また、心電図で心臓の肥大や不整脈の有無、心臓

発作の最中かその危険性があるかなどを確認します。さらに、心エコー検査で心臓が動き、心臓筋肉の厚さ、心臓弁膜症の有無を調べます。採血で心不全時に上昇するBNPという値を測定する方法もあります。必要に応じて、入院または外来で核医学検査や心臓カテーテル検査という検査を行なうこともあります。

一 治療

一般的な治療としては、安静、水分制限(軽症例では、1日1000〜1300ml、重症例では1日800〜1000ml)、塩分制限(1日6g)、酸素吸入です。また、薬による治療、必要に応じてはカテーテルによる治療が必要な方もいます。

一 予防法

1つは、心不全の原因となる疾患にならないよう予防すること、ふだんから禁煙、減塩、低脂肪、肥満防止、適度の運動を心がけることです。2つめは、いったん心不全になって

しまったら、心不全の悪化の誘因を防ぐことです。すなわち、体重を毎日測定し、自分のベスト体重のプラスマイナス1kgの範囲内に保つこと、水分制限を守ること、塩分制限を守ること、オーバーワークを避けること、きちんと服薬すること、かぜをひかぬよう注意すること、心不全の症状出現に注意し、定期的に医師の診察を受けることなどです。

早めの受診が必要な症状

- ◆ 体重が数日で2kgほど増えている
- ◆ 息苦しさがある
- ◆ 足のむくみがある

救急受診を考えるべき状態

- ◆ 横になっても息苦しい
- ◆ 冷や汗が出て苦しい
- ◆ 脈が急に速くなり気を失いそうになる



インフルエンザ 流行期における 面会の注意点について

技術部検査科／感染制御室 I C T

竹内哲也

今年もインフルエンザの季節が近づいて来ました。インフルエンザは毎年11月下旬頃から散発的に発生し、翌年の1～2月頃にピークとなり、4～5月にかけて減少していきます。発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛など全身の症状が突然現れます。併せて普通の風邪と同じようなどの痛み、鼻汁、咳などの症状も見られます。お子様ではまれに急性脳症を、ご高齢の方や免疫力の低下している方では肺炎を伴う等、重症になることがあります。

当院ではウイルスの持ち込み防止のため、面会者に対して下記の通りいくつかのお願いをしております。

1

マスクを着用し、手指消毒を行ってからお入りください。

インフルエンザ患者からの感染性は、発症の1日前からあり、24時間～48時間がもっとも高く、その後は急に低下します(全体で5日～10日間)。今、症状がなくても人にうつしてしまう可能性があります。また流行期にはいつ・どこでうつされるかわかりませんので、必ずマスクを着用し手指消毒をお願いします。

2

熱や咳などの症状がある方は面会をご遠慮ください。

早めに医療機関へ受診をし、安静にして休養をとりましょう。外出を控え周囲の人にうつさないためにマスク着用をお願いします。

3

お子様は面会をお控えください。

子供は大人に比べて抵抗力が低く感染率も高いことから、入院患者にうつしたり、また外来等でうつされたりするリスクがあるため面会はお控えください。

4

インフルエンザ発症者数が多い時には面会を制限する事があります。

面会は家族の方のみとし、短時間で不要・不急の面会はお控えいただくようお願いする事があります。

病院はインフルエンザを治療する場所でもありますが、逆にインフルエンザ患者が集中する場所でもあります。皆でルールを守り、自分自身や家族、入院患者を守っていただけますよう、ご協力をお願いします。



5A病棟職場紹介

看護師 畑中絵里

5A病棟は小児科・耳鼻咽喉科・眼科・口腔外科の混合病棟です。またNICUという新生児集中治療室もあり、生まれてまもない0歳児から90歳以上の高齢者という幅広い患者層を対象とした病棟です。

5A病棟には医師・薬剤師・看護スタッフの他に保育士がいます。



保育士は朝の看護師のミーティングに参加し情報交換を行います。子どもにとって入院は慣れない環境に加え苦痛を伴う検査や処置がある生活となります。保育士は、それらを頑張る子どもたちへ年齢や病状に合わせた遊びを提供します。少しでも笑顔でいられる時間を作り入院が嫌な思い出だけにならないよう努めてくれています。

さらに、小児科での入院にはほとんどの場合母の付き添いが必要となります。低年齢であればあるほど肉親の情愛が必要であり可能な限りそばにいられるように環境を整えています。

しかし、付き添う家族も入院という環境で過ごすことは少なからずストレスを感じるものです。そのため、私たち看護スタッフは患者だけでなく周りの家族のケアまで意識して行うよう努めています。時には授乳中の母の乳房トラブルがないか助産師が介入することもあります。

5A病棟では他にもタッチ&コールという行動レベルの看護目標を2〜3週間毎に作成し朝の業務開始前に読み合わせを行います。今後もスタッフ間での連携を大切にして協力し合って日々のケアを行っていきます。

目標内容は様々であり体調管理や感染予防、看護過誤防止などであ



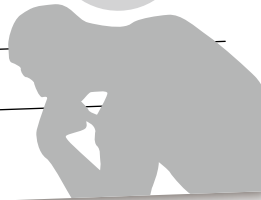
地域医療連携だより

がんについての相談を受け付けています

当院は『地域がん診療拠点病院』に指定されています。がんに関するさまざまな相談や情報提供を専門の看護師やソーシャルワーカーが対応しています。相談内容によっては、医師や薬剤師、栄養士、臨床心理士の専門家と連携を図っています。

- がんについて詳しいことや治療について知りたい。
- がんと言われて不安で頭がいつぱい。
- 治療や手術、入院費などお金のことが心配。
- 医療保険や社会福祉制度などの利用方法を知りたい。
- 転院や通院について相談したい。
- セカンドオピニオンを受けたい。
- 退院後の生活について相談したい。
- 緩和ケアについて知りたい。
- …など

何でも
ご相談ください



相談受付時間 月曜日～金曜日(土日・祝祭日は除く)8時30分～17時15分

相談方法 直接来院していただくか、お電話にてお願いいたします。
※面談を希望される場合は、事前にご連絡を
いただくとお待たせいたしません。

相談料 無料

場所 がん相談支援センター(地域医療連携室)

連絡先 ☎ 0274-63-2111(代表)

✉ tomihp@mail.gunma.med.or.jp



がん患者会『お話しませんか?』

がんの治療を受けている患者さん同士でお話してみませんか?

これから治療開始する方も、また終了された方も気兼ねなく参加いただけます。

がん専門看護師が毎回参加し、参加者の相談に応じたり、日常生活のこと、治療のことなど自由に話しあっています。ご家族のみの参加もどうぞ。

事前の予約は必要ありませんので直接お越しください。

【今後のスケジュール】

10月28日(月) 13時30分～15時00分

11月26日(火) 13時30分～15時00分

12月はお休み

1月30日(火) 13時30分～15時00分

2月26日(水) 13時30分～15時00分

3月28日(金) 13時30分～15時00分

平成25年度公立富岡総合病院地域がん診療拠点病院事業

市民公開講座

死と向き合うところ

平成25年

開催日時

11月15日 午後6時～8時

会場

J A甘楽富岡ヴァン・ヴェール(富岡市富岡2638-1)

講師

峯岸 正典先生(曹洞宗 弘誓山 長楽寺 住職)

演題

『死と向き合うところ』

対象

医療・福祉従事者及び地域住民

参加費

無料

問い合わせ

公立富岡総合病院 地域医療連携課 患者支援係

☎ 0274-63-2111(2183)



【講師紹介】長楽寺住職 峯岸 正典

上智大学大学院修了。ミュンヘン大学、聖オットーリエン大修道院等で学ぶ。瑞応寺専門僧堂を経て1985年から現職。元大本山永平寺国際部講師。宗教間対話研究所を設立し、宗教間の対話促進を図る。海外を含め、坐禅の指導、講演等に従事する。